

図書館改革事業

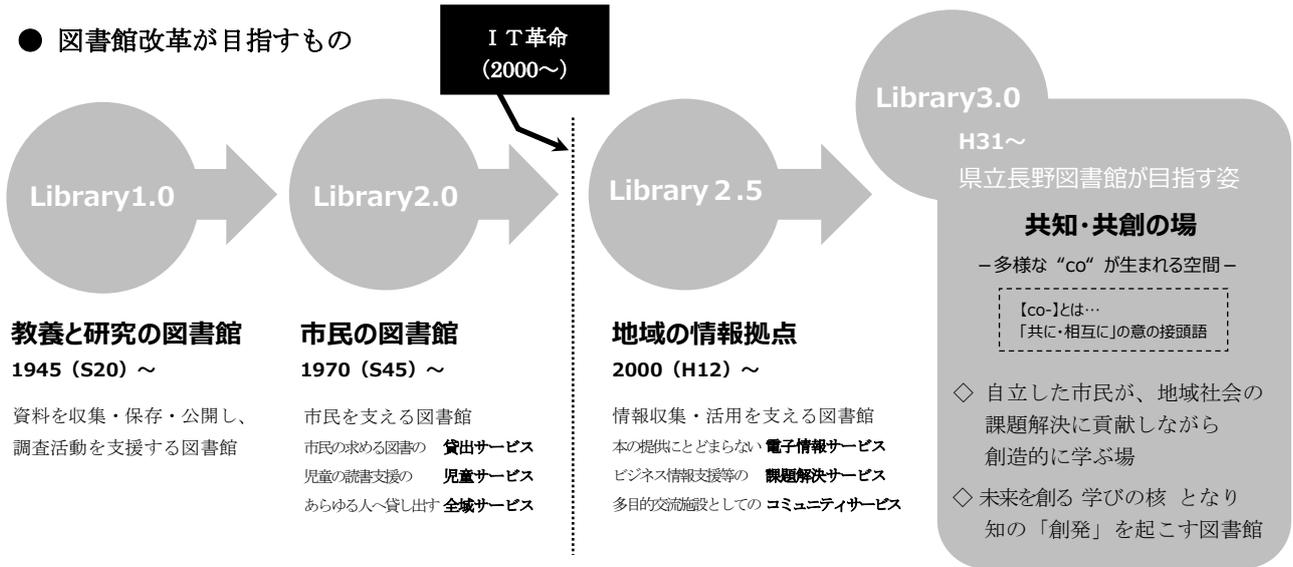
文化財・生涯学習課

1 事業目的

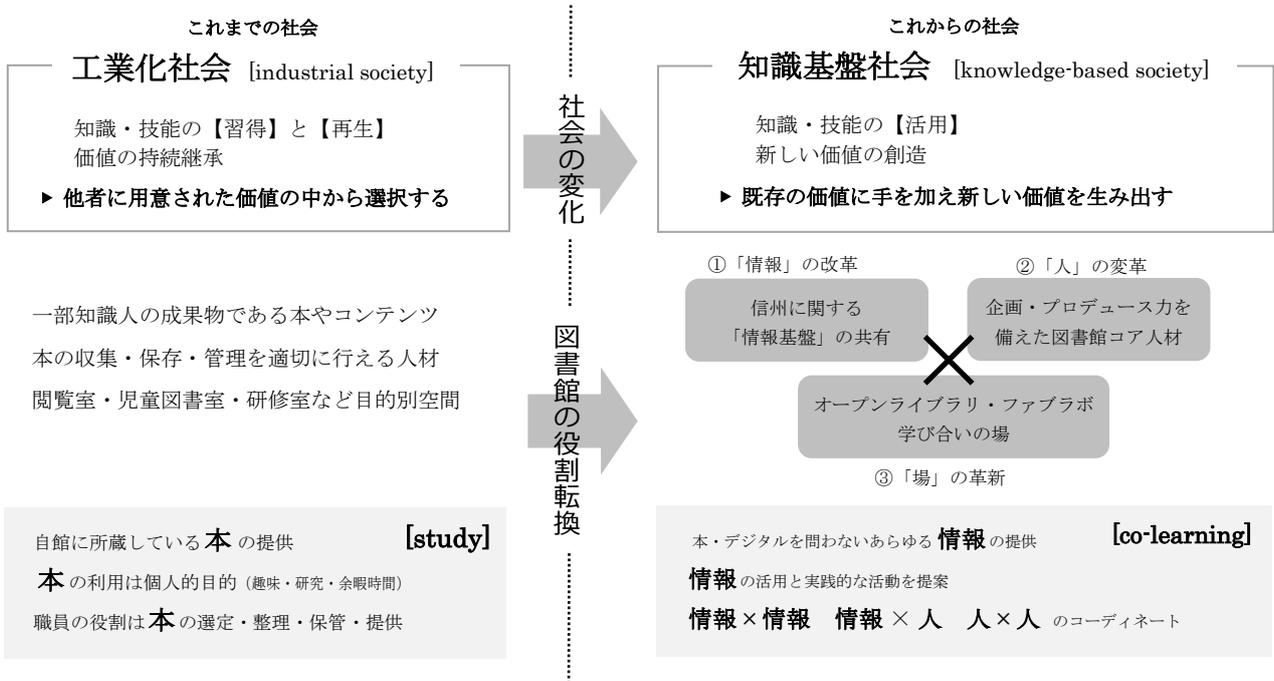
地方創生の新たな時代に対応し、情報・知識基盤社会における多様な県民の「知の拠点」としての役割を果たすため、県全体の図書館サービスの中核たる県立図書館としての機能を強化し、公共図書館と共に様々な情報を活かした新しい図書館づくりを推進する。

【図書館改革のビジョン】

● 図書館改革が目指すもの



● 社会の変化と図書館の役割転換

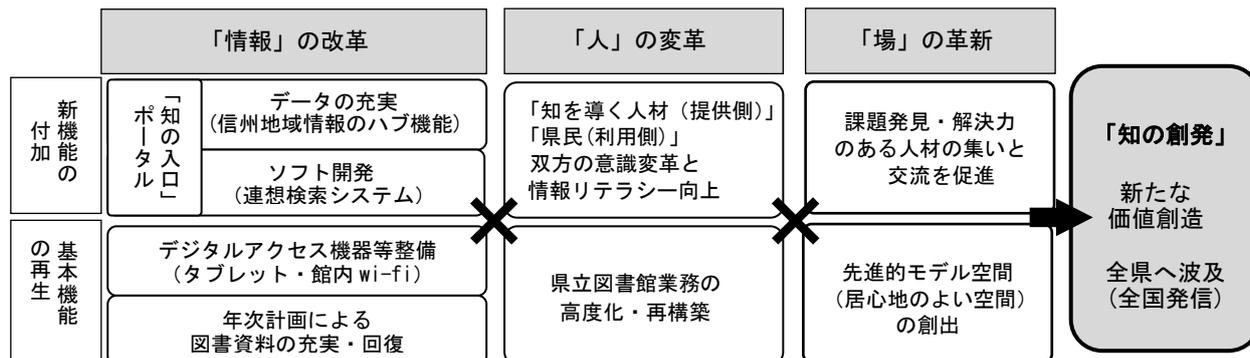


2 事業概要

【改革の方向性】

- ① 「図書の蓄積・貸出・レファレンス」から、県民の「学び・情報の活用・課題解決」の支援への転換
- ② 公立図書館等への支援強化・ネットワーク構築(人材育成・運営アドバイスを強化)
- ③ 県立の図書館としての基本機能の回復(全国水準を踏まえた、郷土・専門資料等図書購入費の増額)
- ④ 業務の分業化・高度化による組織の体質強化(業務改善により改革財源を自ら捻出)

【事業展開のイメージ】



3 平成29年度予算額 1185万3千円

(単位：千円)

	主要項目	内容	H29	H28
情報の改革	信州「知の入口」ポータル(仮称)の検討	○信州に関する情報資産を共有・相互活用するための基盤整備に向け、大学や関係機関と連携し検討	8,356	3,216
	デジタル情報・信州郷土資料等の充実	○新聞雑誌等商用データベースの大幅拡充 ○信州に関する地域情報・郷土資料等の充実		
人の変革	図書館フォーラム・課題解決型ワークショップ等の開催	○県民・図書館関係者・地域関係者などが、これからの公共図書館のあり方を共に考え、実現するための意識啓発・人材育成 ・情報活用に対する意識変革を促す県民フォーラムの開催 ・図書館関係者(司書等)が今後求められるスキルや、情報資産の管理に関する実務研修の開催 ・県内4地域の特長ある図書館と連携した、地域に根差した取組みを学び合うワークショップの開催	2,453	1,511
	県立図書館業務の高度化・再構築	○正規司書：企画、市町村支援、改革業務へ専念 ○嘱託司書：運用リーダー制を導入、職責に応じた報酬へ見直し		
場の革新	先進的モデル空間の創出(ハイブリット図書館)	○図書とデジタル情報を同時に活用できる学びの空間で、学び合いの中から新しい価値を創造する“co-learning”モデルを提案 ・Wi-Fi環境整備(アクセスポイント4)、タブレットPC(20台)等	1,044	1,900
計			11,853	6,627